



発行 / 西東京市
編集 / 企画部広報広聴課
〒188-8666
東京都西東京市南町 5・6・13

市役所代表電話 / 0424-64-1311

ホームページアドレス <http://www.city.nishitokyo.lg.jp/>
(携帯電話) <http://mobile.city.nishitokyo.lg.jp/>
(Lモード) Lメニューリストから検索できます。

西東京

やさしさとふれあいの
西東京に暮らし
まちを楽しむ

電話で聞く、
ホームページ情報
「西東京市テレホンウェブ」
0424-66-5811

今号の主な内容

3面 平成16年度下半期の財政状況のあらまし



市民の皆さんに市の財政運営について知っていただくため、平成16年度下半期の予算執行状況をお知らせします。

4面 ご本人を確認できるものを忘れずに



市民課では、成り済まし等の届出や請求防止のため、本人確認を行っています。ご用の際は免許証・健康保険証等をご持参ください。

4面 住宅マスタープラン（素案）の検討結果



住宅マスタープラン（素案）のパブリックコメント（市民意見提出手続き制度）の検討結果をお知らせします。

8面 青少年のための 広島平和の旅



被爆60周年にあたる本年は、青少年を対象に広島市を訪れ、戦争とは何かをあらためて考えたいと思います。

平成17年度 施政方針

～「地域の底力」が発揮できる 市民主体のまちづくり～



平成17年市議会第2回定例会で
施政方針を述べる坂口市長

5月20日に開会した平成17年西東京市議会第2回定例会において、坂口光治市長が表明した施政方針の概要をお知らせします。

なお、全文は、両庁舎1階情報公開コーナー、各図書館、市ホームページでご覧になれます。
企画課（田無庁舎内線111）

定例会開会にあたり、平成17年度の市政運営の基本方針について所信を述べ、議員ならびに市民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと思っております。

まず冒頭、JR福知山線で事故にあわれた皆様方にお見舞いを申し上げるとともに、亡くなられた方々のご冥福を心からお祈りします。

はじめに
平成17年度予算編成については、本市の財政状況を検証させていただく必要性等から暫定予算としましたが、市民生活への影響を極力軽減するため、一部政策的経費を補正しました。予算審議における議員各位のご協力に対し、あらためてお礼を申し上げます。

自治体には解決すべき課題が山積していますが、今年度を政権公約（マニフェスト）の実現に向けた基礎づくりの年と位置づけ、私も日ごろの地道な努力の積み重ねを大切に、議員ならびに市民の皆様のご理解とご協力をいただき、職員とともに知恵と力を合わせ、市政運営に取り組めます。

■ポスト市町村合併
地方分権一括法の施行を機に、分権の時代が始まり、いわゆる平成の大合併が進む中、行政権限も徐々に地方に移り始めています。

■生活者の視点でのサービス
市役所は、市内最大のサービス機関です。そのサービスの原資は税金であり、市民の皆様は効率的で良質なものを提供することが求められています。

■車座集会（タウンミーティング）の実施
政策を議論する過程で、市民の皆様とともに課題や問題点を洗い出す仕組みが必要です。そこで、車座集会（タウンミーティング）の実施に向け、準備に入ります。

■協働参画型コミュニケーション
これからの自治体には、市民の皆様やNPO等と協力して、地域社会の問題解決にあたる協働型の自治システムが必要とされています。

■政策官庁への脱皮
自治体職員には、政策立案や執行に腕を振るうプロとしての集団、「事業官庁」から「政策官庁」への改革が求められています。

■地方財政の改革展望
昨年11月、平成18年度までの三位一体の改革の全体像が明らかになりました。この間、さまざまな形で地方分権に向けた動きがあったと受け止めてはいますが、生活保護費や義務教育費の取り扱いなど、多くの課題が先送りされた印象があります。

■国の平成17年度一般会計予算総額は、0・1割増の82兆千829億円と3年連続で増加していますが、政策的経費とも言える一般歳出は、前年度比0・7割減の47兆2千829億円と3年ぶりのマイナスに転じ、緊縮型予算が一段と鮮明になっています。

■本市を取り巻く環境
《国の状況》
平成17年度の日本経済は、緩やかな景気回復が続くとして、平成17年度の国内総生産（GDP）の実質成長率は1・6割程度、名目成長率は1・3割程度になると見込んでいます。

■地方財政の改革展望
昨年11月、平成18年度までの三位一体の改革の全体像が明らかになりました。この間、さまざまな形で地方分権に向けた動きがあったと受け止めてはいますが、生活保護費や義務教育費の取り扱いなど、多くの課題が先送りされた印象があります。

■国の平成17年度一般会計予算総額は、0・1割増の82兆千829億円と3年連続で増加していますが、政策的経費とも言える一般歳出は、前年度比0・7割減の47兆2千829億円と3年ぶりのマイナスに転じ、緊縮型予算が一段と鮮明になっています。

また、一般歳出削減等の財政構造改革を積極的に進めたいと考えていますので、区市町村に影響を及ぼす第二次財政再建推進プランの動向に十分留意する必要があります。

また、一般歳出削減等の財政構造改革を積極的に進めたいと考えていますので、区市町村に影響を及ぼす第二次財政再建推進プランの動向に十分留意する必要があります。

また、一般歳出削減等の財政構造改革を積極的に進めたいと考えていますので、区市町村に影響を及ぼす第二次財政再建推進プランの動向に十分留意する必要があります。

また、一般歳出削減等の財政構造改革を積極的に進めたいと考えていますので、区市町村に影響を及ぼす第二次財政再建推進プランの動向に十分留意する必要があります。

また、一般歳出削減等の財政構造改革を積極的に進めたいと考えていますので、区市町村に影響を及ぼす第二次財政再建推進プランの動向に十分留意する必要があります。

また、一般歳出削減等の財政構造改革を積極的に進めたいと考えていますので、区市町村に影響を及ぼす第二次財政再建推進プランの動向に十分留意する必要があります。

また、一般歳出削減等の財政構造改革を積極的に進めたいと考えていますので、区市町村に影響を及ぼす第二次財政再建推進プランの動向に十分留意する必要があります。

また、一般歳出削減等の財政構造改革を積極的に進めたいと考えていますので、区市町村に影響を及ぼす第二次財政再建推進プランの動向に十分留意する必要があります。